

第5学年1組 家庭科学習指導案

指導者 奥村杏奈

題材 「見つけよう 衣服のひみつ」

本題材の目標

◎ 衣服の働きと形や色、布の特徴を理解し、日常生活の様々な場面や状況に応じた着方を工夫して着用することができる。

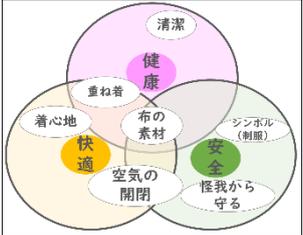
本題材の考え方

- 本題材では、衣服の働きと形や色、布の特徴を理解し、日常生活の様々な場面で衣服の着方を工夫して、生活をよりよくしていこうとする態度を育てることをねらいとしている。具体的には、①衣服の働きと形や色、布の特徴を理解し、健康・快適・安全の視点を基に場面や状況に応じて工夫して着用すること、②場面や状況に応じた衣服の着方を助言したり、多様な考えを認め合ったりすること、③自分の生活をよりよくするために、よりよい衣服の着方を生活に取り入れていこうとすることなどである。本題材では、衣服の働きと形や色、布の特徴を基に、自分自身で衣服を選択する力を育む上で価値がある。
- 本学級の子供たちは、学校生活において制服を着用しており、活動内容によって体操服やスモッグなどの衣服を着用する意図は捉えている。一方で、制服や体操服、普段着などの衣服の働きや形、色、布の特徴を捉えるまでは至っていない。そこで、様々な衣服に使われる素材の違いに気付くための、比較実験活動を通して、衣服の働きと形や色、布の特徴を生かして、衣服が作られたり、用いられたりしていることを捉えさせていきたい。このことは、衣服を形や布の特徴から見る力と価値がある。
- 本題材の導入段階では、わたしたちが着用している衣服にはどのような特徴があるだろうという問いを設定すると想定する。そのために、多様な衣服を提示し今の自分が何を根拠に衣服を選択しているのか話し合う活動を行う。展開段階では、衣服の働きと形や色、布の特徴について追究していくことで、着用の工夫を捉えることができるようにする。そのために、多様な素材の比較実験活動を設定する。次に、衣服の働きと形や色、布の特徴を自分たちの衣生活にどのように生かせるだろうかという問いが生まれると想定する。そこで終末段階では、過去の経験（冬の遠足）から課題を見だし、実践報告会を行うことで、様々な場面や状況に応じて衣服を選択することができるようにする。そして衣生活と住生活が、健康・快適・安全という視点で共通していることに気付くことで衣食住生活のつながりを認識できるようにする。

学びの文脈

《社会的・実用的側面へ》
子供にとって身近な制服や体操服などの学校指定服や冬の遠足などの共通体験を扱った学習を行う中で、日常生活に生かすことができる文脈をつくっていく。

題材計画（全7時間）

題材における活動・内容・手立て	
1 生活場面と多様な衣服を提示し、どんな衣服を選択するか話し合う。 1 ○ 着用している衣服から、学校指定服に着目し、今の自分の衣服の着方について課題意識をもつこと ※ 衣服の着方に課題意識をもつことができるように、生活場面と多様な衣服を提示する	
わたしたちが着用している衣服にはどのような特徴があるのだろうか。	
2 自分が普段着ている衣服について振り返り、衣服の働きや特徴について追究する。 4 (1) 自分や家族の衣生活について調べる。① ○ 衣服の着方を健康・快適・安全の視点で工夫していることを捉えること ※ 衣服を着用する意図や工夫を把握するための家庭への実態調査活動を設定する (2) 衣服の働きと形や色、布の特徴について実験をして調べる。③ ○ 形や色、素材の違いによって「伸縮性」「保温性」「吸水性」「熱の吸収」「通気性」「速乾性」などの特徴があることを捉えること ※ 働きと特徴に気付くことができるために、制服や体操服、エプロン、スモッグなどの比較試着活動と多様な素材の比較実験活動を設定する。	
衣服の実践的・体験的追究活動 形 色合い 布の特徴 伸縮性 吸水性 熱の吸収 保温性 通気性 速乾性	
衣服の働きや特徴を自分たちの衣生活にどのように生かすことができるだろう。	
3 衣服の働きと形や色、布の特徴を生かして、自分の生活に照らして課題を見だし、実践する。 2 1/2 本時 ○ 衣服の形や色、布の特徴を基に、場面や状況に合わせた普段着の着方の工夫を見だし、これからの自分の生活に生かしていくこと ※ 様々な場面や状況を考えて選択するための、共通体験の提示と住生活と衣生活を関連付けた日常生活の振り返り活動の設定	

本題材における生活の営みに係る見方・考え方

衣生活に係る生活事象を「健康・快適・安全」の視点で捉え、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を想像できるよう、よりよい生活を営むために工夫すること

本時の目標

衣服の働きと形や色、布の特徴を基に衣服を着用し、健康・快適・安全の視点から選択するとよいことを理解することができる。

本時の学習過程（6 / 7 時）

学習活動・内容・予想される子供の反応	手立て					
<p>1 冬の遠足での経験や問題を基に、本時のめあてについて話し合う。</p> <p>○ 衣服の働きや特徴とこれまでの経験を基に、冬の遠足に行く際の衣服のポイントについて話し合うという本時の見通しをもつこと</p> <p>・ 去年の遠足での衣服だと寒かったから、調節できる服装を意識したよ。</p> <p>・ みんなは何を意識したり、工夫したりして選んだのか聞いてみたいな。</p> <p>これまでに学んだ衣服の働きや布の特徴を生かして、着方の工夫について話し合おう。</p>	<p>※ 本時の見通しをもつことができるように、冬の遠足での経験や想起したことから見つけた課題を話し合う場を設定する。</p>					
<p>2 冬の遠足に行く際の、自分で選んだ衣服のポイントについて話し合い、それぞれの着方から、どのような共通点や相違点があるのか話し合う。</p> <p>(1) 冬の遠足に行く際の、衣服のポイントについてグループで話し合う。</p> <p>○ 衣服の働きと形、色、布の特徴を基に、衣服を選ぶ上で大切にしたい観点を整理すること</p> <p>・ ぼくは、去年首が開いている服で寒かったから、首元まである洋服にして、保温性の高い素材のものにしたよ。</p> <p>・ 防寒という観点は一緒だけど、服の枚数を増やして重ね着をしたよ。</p>	<p>※ 衣服の働きや特徴と、場面や状況に応じて工夫していることが分かるようにするために、同じ課題意識をもつグループで話し合う場を設定する。</p>					
<p>(2) それぞれの着方から、どのような共通点や相違点があるのか話し合う。</p> <p>○ それぞれの衣服の着方は健康・快適・安全の考え方で共通しており、場面や状況に応じた工夫の仕方は多様にあるということをつまえること</p> <p>・ 素材や形はちがっていても、怪我をしないように安全面を考えているところは同じだね。</p> <p>・ 同じ場面でも注目する観点や一番大事にしたい部分が人それぞれ変わってくると工夫の仕方も変わってくるね。</p>	<p>※ 着方の共通点や相違点に気付くことができるようにするために、健康・快適・安全の視点に分類して、板書に整理する。</p>					
<div style="text-align: center;"> <p>テーマ：12月15日・遠行会</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">気温</td> <td style="width: 20%;">天気</td> <td style="width: 20%;">活動内容</td> <td style="width: 20%;">時間帯</td> <td style="width: 20%;">室内外</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>去年の遠足は半ズボンだったから寒かったので、寒い空気が入ってこないようにするために、袖口や首元の入り口が閉じるものにしたよ。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>健康</p> <p>快適 安全</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>素材や形の工夫はちがっていても、怪我をしないように安全面を考えているところは同じだね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ぼくは、怪我をしないように意識していて、デニムの生地が厚いものにしたよ。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>形 色合い 布の特徴</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>同じ場面でも注目する観点や一番大事にしたい部分が人それぞれ変わってくると工夫の仕方も変わってくるね。</p> </div> </div> </div>		気温	天気	活動内容	時間帯	室内外
気温	天気	活動内容	時間帯	室内外		
<p>3 それぞれの考えを聞いて分かったことや、住まい方と衣服の着方の共通点について話し合う。</p> <p>○ 住生活も衣生活も健康・快適・安全に過ごすために工夫し関連付けられること</p> <p>・ どちらも暖かくするために空気を閉じ込めているところは同じだよ。</p> <p>・ 快適に過ごすためには、住まいも衣服も繋げて工夫するとよい。</p>	<p>※ 住生活と衣生活を関連付けることができるように、住まいの学習プリントや流れ図を基に、話し合う場を設定する。</p>					

【本時求める子供の姿】

☆ 去年の格好は寒すぎたから、寒くならないように、首元まである洋服にして、保温性は高いけど厚着にならないものにしたよ。違う工夫の仕方でも快適に過ごすという考えは同じだね。